

東京オリンピック開催

千葉県にとって絶好の機会

「ちば元気宣言！」をスローガンに、中沢裕隆県議（柏市選出、1期）はふるさとに活力をと積極的な政治活動を繰り広げています。昨年末の12月県議会では一般質問に立ち、東京オリンピック・パラリンピック開催は地域振興の絶好のチャンスとして県の取り組みを尋ねるとともに、「合宿地を誘致し、子どもたちに夢を」と訴えました。また、増加する児童虐待問題を取り上げ、児童相談所の体制強化について県の考えを質問しました。中沢県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。

12月県議会一般質問

柏市特集

中沢議員 東京オリンピック・パラリンピックの開催は、東京に隣接し、我が国の空の玄関である成田空港を要する本県にとって、地域振興や経済活性化を図るとともに、本県の持続的な成長のための基盤づくりを進める絶好のチャンス。この好機を確実に捉え、海外から千葉県に多くの方が訪れていただけるように取り組んでいかなければならないと考える。

我が国の窓口である成田空港に来ていただいても、鉄道やバスで真っ直ぐに東京に向かわれてしまうのであれば、いかにもつたいなく、是非とも県内を周遊していただき、千葉の魅力を知っていただくことが重要だ。



県議会壇上で一般質問を行う中沢裕隆県議

本県は立地条件を考えれば各国の選手の合宿地として極めて有望だと思う。合宿地の誘致は世界の一流アスリートを間近に見られる機会として本県のスポーツ振興に役立つとともに、練習に励む選手の姿と併せて地域の魅力が世界に発信されれば、大会終了後の観光振興にも大きく寄与することから、県内の多くの市町村も意欲を示しており、県として連携して取り組むべきと考える。

そこで、オリンピック開催を踏まえ、県では海外からの観光客誘致に向けて、県では、チーバくん大使による魅力発信や海外メディアの招請などを行っており、今年度は新たに、海外のテレビ番組を活用し、一層の本県の魅力発信に努めています。

また、県では、オリンピック・パラリンピックを見据えた取組を検討するため、庁内に戦略推進本部を設置したところであり、今後、「戦略的な千葉の魅力発信」などの方向性について、「基本方針」として取りまとめていくこととしています。

今後は、この方針のもと、安全・安心の確保をはじめ、清潔なトイレの整備やおも

合宿誘致で子どもたちに夢を

中沢ひろたかプロフィール

略歴

- 昭和45年6月 埼玉県大宮市生まれ 麗澤高校卒 麗澤大学国際経済学部卒 公益財団法人モラロジー研究所モラロジー専攻塾卒 柏市議会議員初当選(3期) 千葉県議会議員初当選
- 平成11年8月
- 平成23年4月

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会副委員長
- 柏市サッカー協会副会長
- 柏市バスケットボール協会副会長
- 柏市体育協会副会長
- 千葉ロッテマリーンズ柏後援会理事
- 柏ユネスコ協会賛助会員

分な戦略を練って、合宿地の誘致に取り組んでまいります。

中沢議員 2020年の大会招致は我が国にとっても、本県にとっても大きなチャンスである。地域振興や経済の活性化、インフラの整備をオリンピックに合わせ積極的に進めるべきであるとともに、オリンピックを通じて子どもたちに夢を与えることができるかと思っている。

合宿地の招致はこれから市町村が進められると思うが、仮に県内への招致が実現したら、一流スポーツ選手との交流とか、国際交流であるとか、様々な形で子どもたちを大会運営に関与させることは是非、県には先頭に立つて、考えていただきたい。

要望

中沢議員 2020年の大会招致は我が国にとっても、本県にとっても大きなチャンスである。地域振興や経済の活性化、インフラの整備をオリンピックに合わせ積極的に進めるべきであるとともに、オリンピックを通じて子どもたちに夢を与えることができるかと思っている。

千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆 政務調査室 事務所

〒277-0061 柏市東中宿3-1-2 アーバン千代田店舗C

TEL.04(7173)4791

児童相談所

虐待の対応件数増加

福祉司の増員必要



県会議場の自席で再質問を行う中沢裕隆県議

内人口や相談件数等に偏りがあることから、所管区域の見直しも含め、建替えや移転などについて、総合的に検討を進めております。

要望
中沢議員 柏市にある柏児童相談所は昭和49年に設置され、かなり老朽化が進んでいるので計画的な更新、施設の増強をお願いしたい。

中沢議員 一時保護所の入所児童が定員に達している場合に、一時保護が必要となった場合、どのように対応しているのか。

健康福祉部長 子どもの一時保護が必要であると児童相談所長が判断した場合、定員を一時的に超過しても、一時保護所に子どもを入所させ、子どもの安全

を図っております。しかしながら、保護児童の生活環境に配慮し、定員に空きがある他の児童相談

所や里親への一時保護委託を行うことで、一時保護所の定員超過の解消に努めております。

東葛テクノプラザ

「公民学連携」の一層の橋渡しを

中沢議員 東葛テクノプラザにおける企業支援についてうかがう。東葛テクノプラザは、開設から15年を経過したが、機器更新はどのように進められているのか。

商工労働部長 東葛テクノプラザの試験・研究機器につきましては、これまでにも利用実績や重要度を考慮し、優先順位をつけて部品の交換や機器の更新を行ってきたところでございます。県としても開設から15年

中沢議員 東葛テクノプラザを拠点として、地域特

生活保護受給者の就労へ
昨年度3585人を支援

中沢議員 生活保護受給者に対する就労支援についてうかがう。県内では平成25年9月現在、7万9875人の生活保護受給者がいる。これら受給者に対する

健康福祉部長 県の児童相談所では、対応件数の増加や、これに伴う職員の増員により、一時保護所の居室や面接室、事務室などが不足しているところがあり、

健康福祉部長 福祉事務所ではケースワーカーが、就労も含め生活支援を行っています。県及び18市で

は、さらに就労支援員を配置し、昨年度は3585名に対し、ハローワークへの同行などの支援を行い、1514名が就職または収入が増加しています。

また、県及び34市では、ハローワークと支援チームを構成して、昨年度は1176名に対し、個別の支援プランの作成や職業訓練のあっせんなどの支援を行い、

472名が就職しています。そのほか、県では、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動の基本的な知識に関する講習会を昨年度4回開催し、139名の受給者が参加しています。

中沢議員 今後、県は、就労支援にどのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長 国においては、就労による自立促進

性を生かした産学官連携にどのように取り組んでいるのか。

商工労働部長 県では、東葛テクノプラザを拠点といたしました産学官連携を推進するため、東京大学、千葉大学等の研究シーズと、東葛地域の中小企業の技術をつなげる「大学等研究交流サロン」を実施するとともに、産学官連携による研究開発プロジェクトの立ち上げ支援等に努めてきたところでございます。

このような取組によりまして、東京大学等との共同研究による水性インキを用いた環境負荷の少ない印刷技術の開発や、コーティング素材の応用による傷がついて

も復元する塗料の製品化など、産学官連携による成果が具体化してきております。今後とも、東葛テクノプラザを拠点に、つくばエクスプレス沿線を中心とした県内外の研究機関等との連携を推進するなど、県内中小企業の研究開発支援に取り組んでまいります。

要望
中沢議員 東葛テクノプラザがある柏の葉エリアは、今後ますますの発展が見込まれる地域であり、より一層の公民学連携が求められていくと考えられる。県においても各機関との連携の仲介役として東葛地域における新産業の創出ベンチャー企業の育成などに注力していただきたい。

貴重な財産「里山」
保全活動に支援を

中沢議員 都市部における里山保全活動に対して、積極的に支援を行っていくべきではないか、県の考え方をうかがう。

農林水産部長 都市部に残された里山は、地域の貴重な財産となつていることから、多くの地域で、住民が参加した森林整備などの保全活動が行われております。このため各市においても、里山活動に係る人材育成や保全活動への助成などが行われているところでございます。

県におきまして、これらの活動を促進するため、里山活動に関する総合窓口の設置や技術的支援などに

加え、本年度から国において創設された助成制度を活用し、団体が行う森林整備や間伐材の利用などに対して支援を行っているところで

現在、里山条例に基づく「第3次里山基本計画」の策定を進めており、今後ともこの計画を基本に、市町村と連携しながら、県民や企業など多様な人々による里山の保全活動を促進してまいります。

要望
中沢議員 本年度から千葉県で活用している林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」制度が終了する平成27年度以降についても、県に里山の保全活動への積極的な支援を行ってもらいたい。